松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・取扱い・工事などのご相談は、**まずお買い求めの販売店・工事店へ**ご依頼下さい。

・ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼になれない場合は、商品名・品番をご確認の上、下記の「相談窓口」へ

商品・お取扱いなどのご相談は

修理・サービスのご相談は

総合ご相談窓口

旭川 (0166)23−9462 (転)
釧路 (0154)31−2992 (転)
函館 (0138)49−4036 (転)

札幌お客様ご相談センター
(〒060−0809) 札幌市北区北9条西2丁目1番地
(011)727−5033

青森 (017)738−2461 (転)
秋田 (018)864−5141 (転)
盛岡 (019)643−7291 (転)
山形 (023)625−4846 (転)
仙台 (022)268−5856 (転)
郡山 (024)942−2371 (転)
新潟 (025)269−6615 (転)
宇都宮 (028)634−0404 (転)
高崎 (027)363−7967 (転)
水戸 (029)241−9595 (転)
甲府 (055)235−4175 (転)
大宮 (048)668−1831 (転)
千葉 (043)227−3626 (転)
横浜 (045)491−7311 (転)

東日本お客様ご相談センター
(〒108−8402) 東京都港区芝4丁目8番2号
(03)3769−4820

名古屋 (052)581−7208 (転)
静岡 (054)261−0585 (転)
三重 (059)227−5310 (転)
岐阜 (058)272−4653 (転)
長野 (026)228−3824 (転)
富山 (076)431−5539 (転)
福井 (0776)54−8425 (転)
金沢 (076)245−5390 (転)
京都 (075)661−5146 (転)
滋賀 (077)564−9366 (転)
和歌山 (073)474−5681 (転)
神戸 (078)731−1195 (転)
高松 (087)843−3571 (転)
松山 (089)947−2886 (転)
高知 (088)831−7656 (転)
広島 (082)247−9438 (転)
米子 (0859)22−9244 (転)
岡山 (086)241−3184 (転)
山口 (083)972−8515 (転)
福岡 (092)531−5605 (転)
北九州 (093)931−8978 (転)
大分 (097)558−6784 (転)
長崎 (095)843−3995 (転)
熊本 (096)359−5018 (転)
宮崎 (0985)26−6189 (転)
鹿児島 (099)251−3217 (転)
沖縄 (098)876−8274

西日本お客様ご相談センター
(〒540−0001) 大阪市中央区城見2丁目1番3号
(06)6946−2437

(注) 所在地、電話番号が変更になることがありますので、予めご了承下さい。
(転)印の電話はご相談センターへ自動転送しておりますので、つながるまでに多少の時間がかかります。又、転送メッセージが流れても、転送先が話中の場合は、つながりませんので、お手数ですがお掛け直し下さい。
転送先までの電話料金は弊社負担です。

修理ご相談窓口

旭川 (0166)26−5505 (転)
釧路 (0154)25−1015 (転)
函館 (0138)49−1822 (転)

札幌修理ご相談センター
(〒060−0807) 札幌市北区北7条西5丁目5番地3 札幌千代田ビル2階
北海道松下電工テクノサービス(株)
(011)707−7210

青森 (017)728−8550 (転)
秋田 (018)823−0229 (転)
盛岡 (019)637−1556 (転)
山形 (023)633−7260 (転)
仙台 (022)371−2547 (転)
郡山 (024)939−0970 (転)
新潟 (025)260−5971 (転)
宇都宮 (028)636−7004 (転)
高崎 (027)361−1821 (転)
水戸 (029)241−8997 (転)
甲府 (055)235−3160 (転)
大宮 (048)664−6901 (転)
千葉 (043)224−5309 (転)
横浜 (045)713−1089 (転)

東京修理ご相談センター
(〒174−0041) 東京都板橋区舟渡1丁目12番11号 ヘリオスII・2F
東部松下電工テクノサービス(株)
(03)5392−7190

静岡 (054)262−2654 (転)
三重 (059)222−9233 (転)
岐阜 (058)277−3303 (転)
長野 (026)223−6889 (転)
富山 (076)433−4900 (転)
福井 (0776)54−3829 (転)
金沢 (076)237−2143 (転)

名古屋修理ご相談センター
(〒450−8611) 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号 松下電工名古屋ビル北館8F
中部松下電工テクノサービス(株)
(052)551−7900

京都 (075)682−6020 (転)
滋賀 (077)564−9246 (転)
和歌山 (073)473−0556 (転)
神戸 (078)737−1100 (転)
高松 (087)843−5890 (転)
松山 (089)941−9860 (転)
高知 (088)834−0515 (転)

大阪修理ご相談センター
(〒575−0041) 大阪府四条畷市蔀屋新町3番41号
近畿松下電工テクノサービス(株)
(072)878−8999

広島 (082)296−6649 (転)
米子 (0859)22−9127 (転)
岡山 (086)245−6937 (転)
山口 (083)973−8559 (転)
北九州 (093)931−6567 (転)
大分 (097)553−4510 (転)
長崎 (095)843−9131 (転)
熊本 (096)326−3187 (転)
宮崎 (0985)23−1134 (転)
鹿児島 (099)253−8881 (転)
沖縄 (098)876−8274

福岡修理ご相談センター
(〒812-0041) 福岡市博多区吉塚5丁目5番32号
西部松下電工テクノサービス(株)
(092)622−0531

(平成12年5月現在)

お客様へ おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。	ご購入年月日	年 月 日
	ご購入店名	TEL.

松下電工株式会社 リビング・ライフ事業部 〒522−8520 滋賀県彦根市岡町33番地

H-N0.1

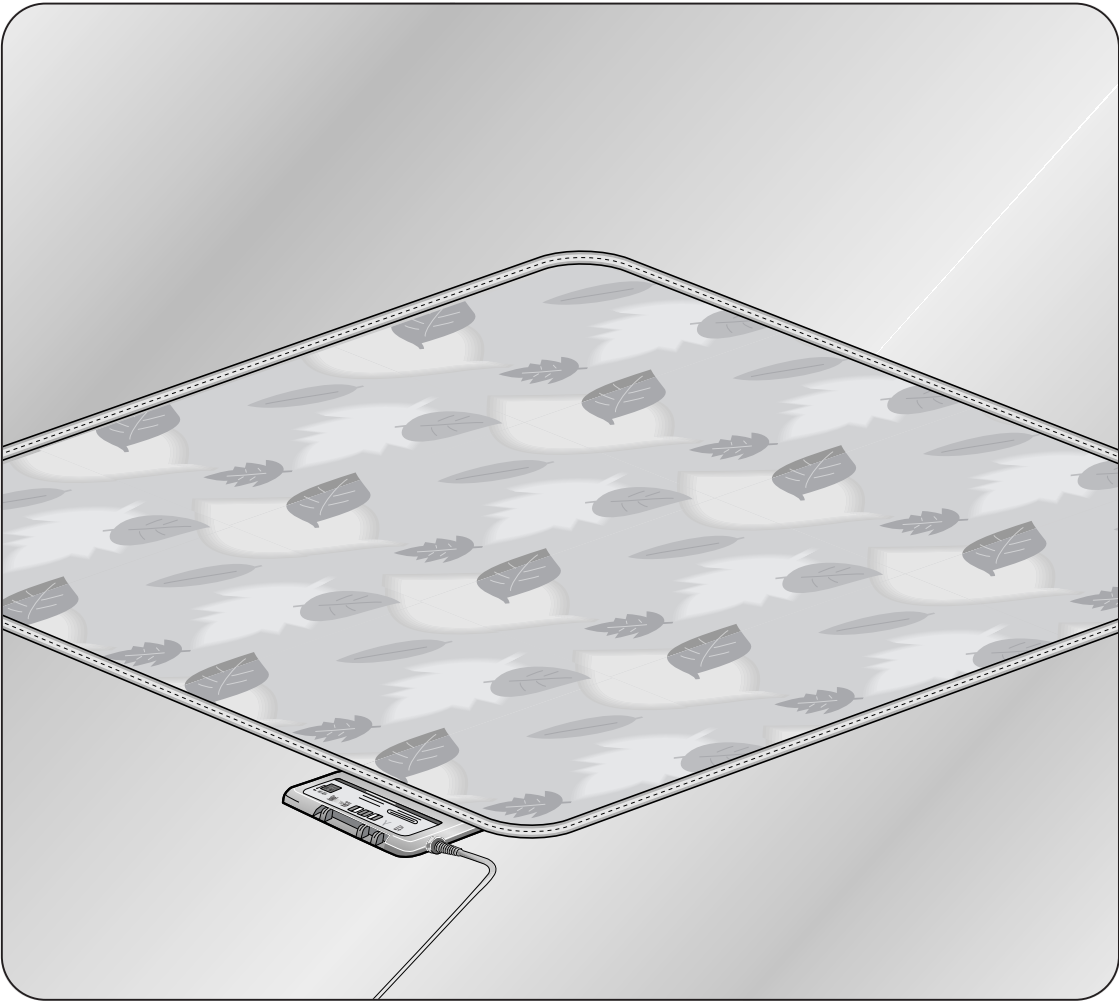
National
松下電工

保証書別添
保 管 用

ナショナル ホットカーペ

キトサン ゆかピタ

品番 DR5221

取扱説明書

このたびは、ナショナルホットカーペをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、その後いつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

もくじ

DRCT1D-457

◆ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。

⚠危険

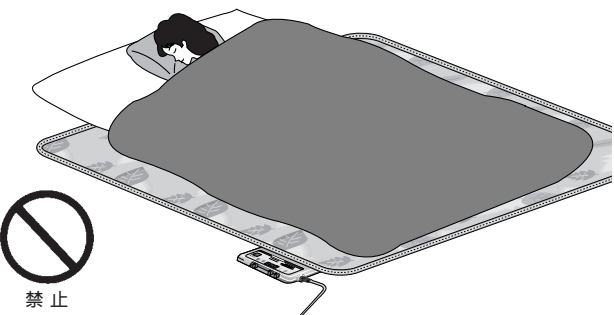
低温やけどや脱水症状をおこすおそれがあります。

次のような方がお使いのときは、特に注意してください。

- 乳幼児・お子様・お年寄り
- 自分で温度調節のできない方
- 皮ふ感覚の弱い方・皮ふの弱い方
- 眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

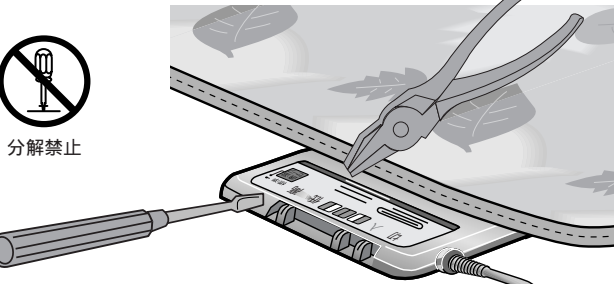
必ず守る

就寝用暖房器具として使用しない。

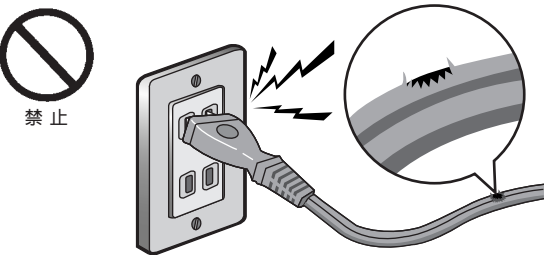
禁止

低温やけどについて……一般にやけどといえば、火・熱湯・油などの高温のものが皮ふにふれておこるものですが、比較的低い温度（40～60℃）のものでも長時間皮ふの同じ箇所にふれていると（状態や個人差によっても異なりますが）低温やけどをおこす場合があります。一般のやけどは皮ふの表層のみですが、低温やけどは皮ふの深部におよび、赤い斑点や水ぶくれができるのが特徴です。

⚠警告

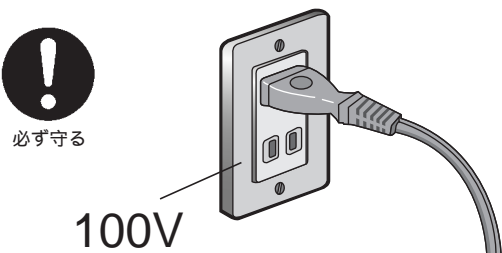
自分で分解、修理しない。

分解禁止

発火したり、異常動作して感電・けが、火災の原因となります。

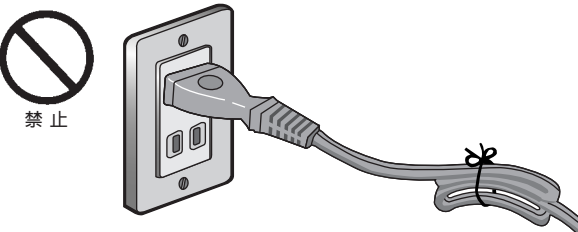
電源コード、プラグがいたんだり、コンセントにプラグを差し込んだとき、ガタ・ユルミのあるときは使用しない。

禁止

感電・火災の原因となります。

必ず交流100Vで使用する。

必ず守る

100V以外で使用すると、感電・火災の原因となります。

電源コードを束ねて通電したり、加工したり無理な力を加えたりしない。

禁止

電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

⚠危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意	人が傷害を負う危険性及び物的損害の発生が想定される内容

●絵表示の例

分解禁止

⃠記号は、禁止の行為を示しています。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源プラグを抜く

❗記号は、行為を強制したり指示したりするものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグからコンセントを抜いてください）が描かれています。

⚠注意

必ず守る

●電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
●電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
上記2項を守らないと、感電・ショート・過熱・発火の原因となります。

●温度コントローラのコネクターをヒーターユニットのコネクター受けに奥まで確実に差し込む。
過熱・発火の原因となります。

電源プラグを抜く

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
抜かないと、絶縁劣化による感電や火災の原因となります。

禁止

●温度コントローラ部に水やお茶などをこぼしたり、強い衝撃をあたえない。
（万一こぼしたり、衝撃をあたえた時は直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。）
感電・火災や故障の原因となります。

●凹凸・段差のある場所で使用しない。
ヒーターユニットが破損し、感電・火災の原因となります。

●スプレー缶、ライター等を近くに置かない。
加熱して爆発や火災の原因となります。

●犬や猫などペットの暖房には使用しない。
ペットが本体やコードを傷め、火災の原因となります。

●アイロン台として使用したり、加熱物を置かない。
熱で本体を傷め発火の原因となります。

●針やピンなどでさしたり、刃物で傷つけない。
ショートして感電や故障の原因となります。

●座布団など保温性のよいものをのせない。
のせたものや床材が熱で変色することがあります。

●高周波ミシン・温熱治療器などの高周波機器の近くでは使用しない。
ホットカーペが通電しなくなることがあります。

◆ 各部のなまえ

すべり止め加工面

温度コントローラ

ヒーターユニット

電源プラグ

暖房面積切替スイッチ

機能切替スイッチ

電源スイッチ

温度調節レバー

電源コード

切 入 電源 6時間後自動切 自動切後ランプ点滅

低 高

標準 適温セーブ

National 松下電工

自動速暖機能・快温センサー搭載

温度コントローラ

ヒーターユニット裏面

コネクター受け

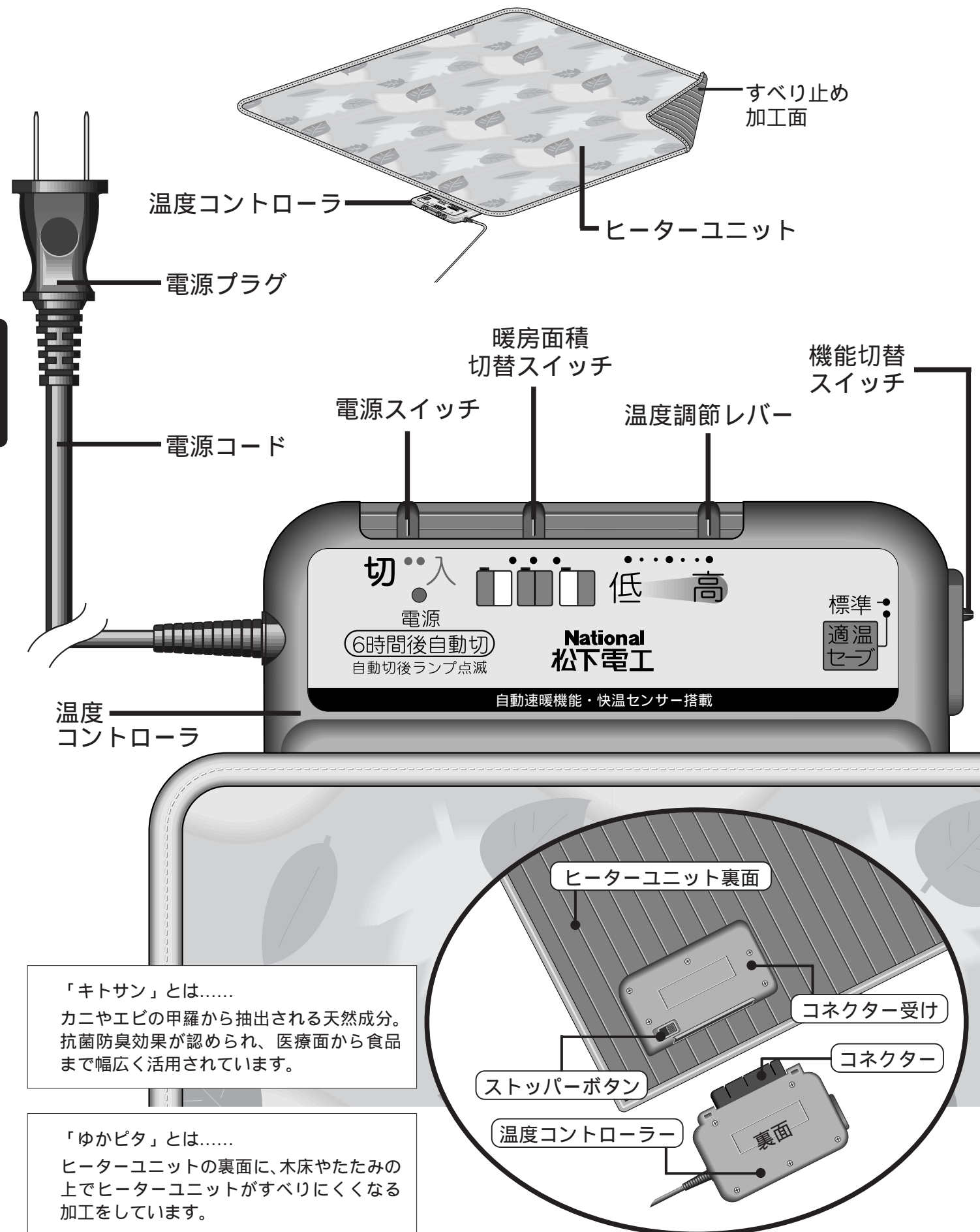
コネクター

ストッパーボタン

温度コントローラー

〈裏面〉

●「キトサン」とは……
カニやエビの甲羅から抽出される天然成分。抗菌防臭効果が認められ、医療面から食品まで幅広く活用されています。

●「ゆかピタ」とは……
ヒーターユニットの裏面に、木床やたたみの上でヒーターユニットがすべりにくくなる加工をしています。

◆ ご使用前に……

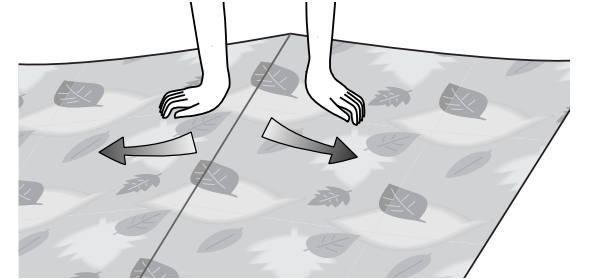
■梱包箱は捨てずにシーズンオフの収納に使います。

■ホットカーペを敷くときは……

●ヒーターユニットは、乾燥している床に敷いてご使用ください。

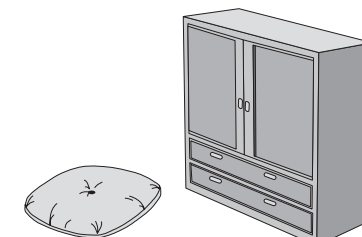
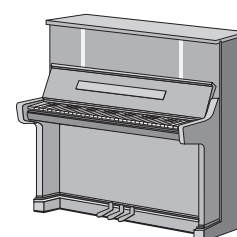
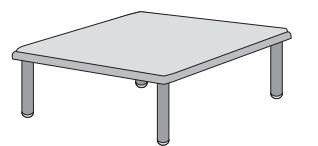
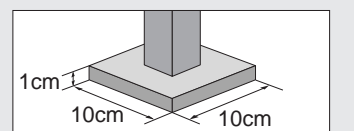
(床材がクッションフロアの場合や床面をワックスがけ・ふき掃除をした時は、ヒーターユニット裏面と床材がくっつくことがあります。ヒーターユニット裏面を乾いた布でよくふき取り、お使いください。)

ヒーターユニットは平らな床に広げ壁や物に当てずに、折りジワをよくのばした状態で使用してください。

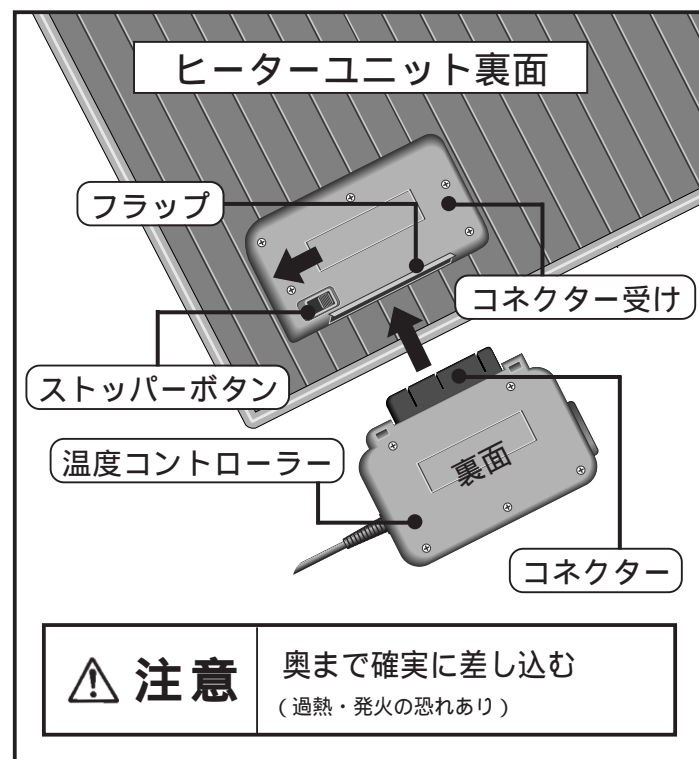
(壁や物に当てて、ヒーターユニットが変形した状態で使用すると、ヒーターユニットがいたむ原因になります。)

お知らせ

●使い初めは、折りジワがありますが、通電してお使いいただいているうちに徐々に目立たなくなります。
折りジワは多少残りますが、そのままお使いいただいても、本体機能に何ら支障はありません。

●本体表面に毛足がない為、やや滑り易くなっていますので注意してご使用ください。

■ホットカーペの上にのせては……

応接セットや机で脚部の細いものをホットカーペ本体の上に置くときや、都合上どうしてもタンス等を置く場合には、あて板をすることにより、ヒーターユニットにかかる荷重を緩和させることができます。
(あて板:10×10×1cm、1枚あたり約500kg(5kg/cm²)の重さまで)

◆ コントローラの操作のしかたと機能

■暖房を入れるには……

1 温度コントローラーのコネクターをヒーターユニット裏面のコネクター受けにカチッと音がするまで差し込む

温度コントローラを抜くときはストッパボタンを矢印の方向に押しながら抜いてください。

2 電源プラグをしっかりと差し込む

AC100Vコンセント

⚠注意
奥まで確実に差し込んでください。
ゆるんでいると過熱・発火のおそれがあります。
必ず守る

3 電源「入」
電源ランプが点灯します

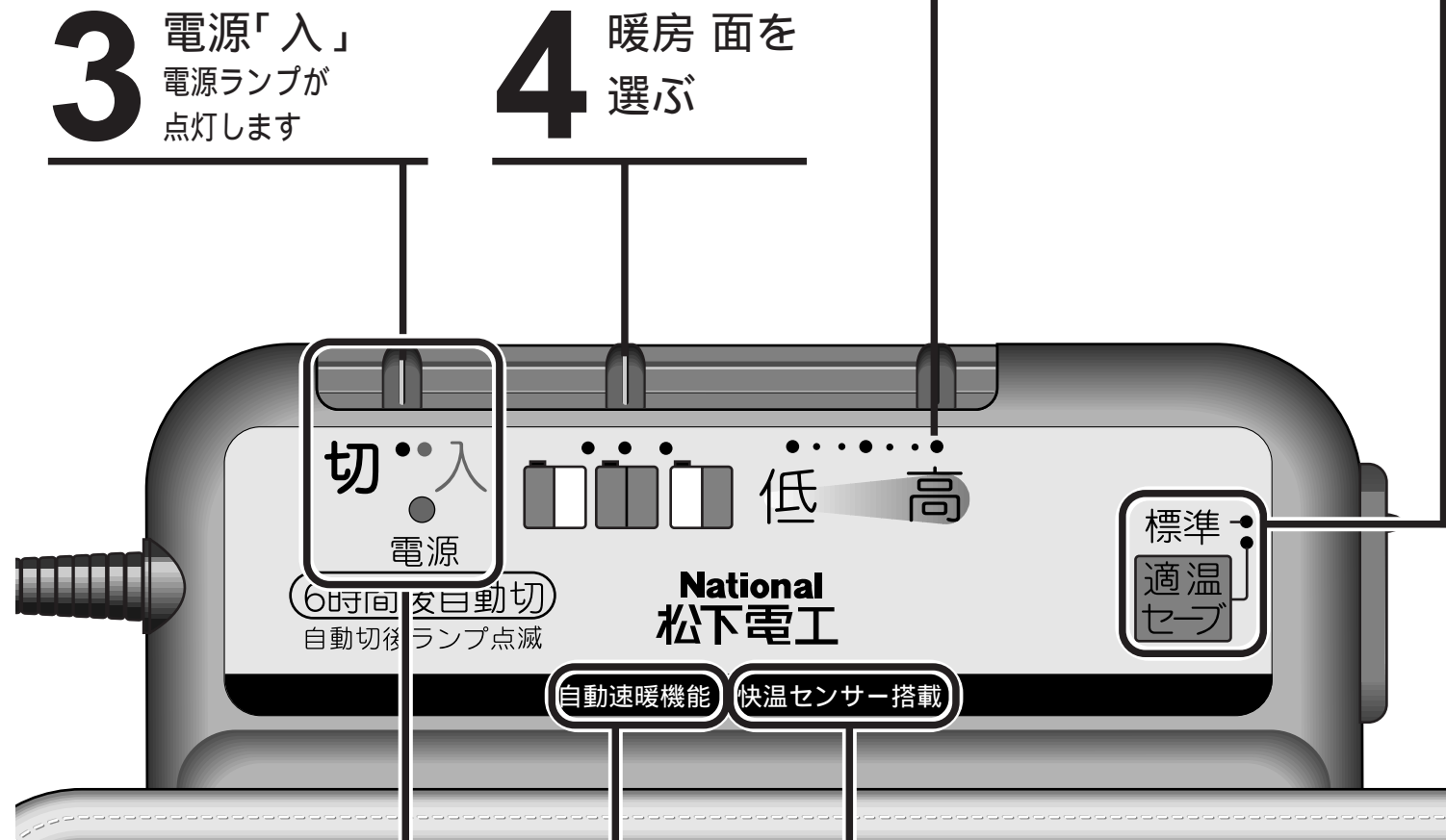
4 暖房 面を選ぶ

5 好みの温度に合わせる

6 標準に合わせる

切 入
電源
6時間後自動切
自動切後ランプ点滅
低 高
National
松下電工
標準
適温セーブ
自動速暖機能
快温センサー搭載

■自動切タイマー

電源スイッチを入れると、自動的に「切タイマー機能」がはたらき、約6時間後に電源が切れます。
（電源ランプが点滅に変わります）
電源スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にすれば、もとどおり通電します。

●自動速暖

電源スイッチを入れると自動的にフルパワーで暖めます。

●快温センサー

暖かさを保ちながら、室温の上昇にあわせ、消費電力を上手に抑えます。

■適温セーブ

- ●標準運転よりも温度が低くなります。
- ●室温がポカポカと暖かい時、この機能に切替えると快温センサーがはたらき（部屋の温度をキャッチして）、無駄な暖めすぎを防止し最適な床温度に調整します。

●こんな場合におすすめ

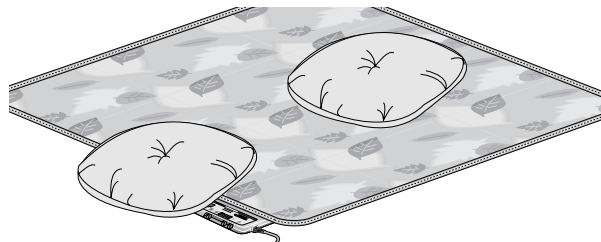
- ・他の暖房器と併用時。（エアコン、ファンヒーター等）
- ・部屋に日が差して暖かい時。

●ホットカーペが暖かく感じないときは（P7.8参照）、温度調節レバーを高めに合わせてください。

◆ ホットカーペの特性・取り扱い上の注意

■ホットカーペは以下のような条件でご使用の場合、ぬるく感じる事があります。

●ホットカーペやコントローラ部の上に座布団などを置くと温度が上がりにくくなります。

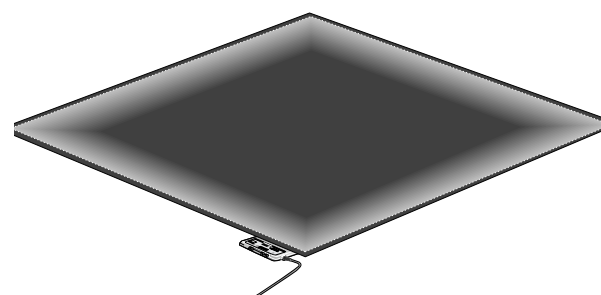
座布団を置いてある場所の温度が他の場所より上がるため、コントローラ内の保護機能が働いてホットカーペ表面全体の温度を抑えるためです。

●片面で使用していた後、両面に切り替えたとき、使用していなかった面は温度が上がりにくくなります。

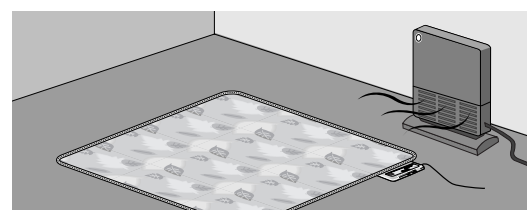
はじめに使用していた片面の温度を保つようにコントローラが通常よりも電力セーブして動作するため、使用していなかった面の表面全体の温度が上がるのに通常より時間がかかるためです。

●適温セーブモードで使用したときは通常使用よりも温度が低くなります。

適温セーブモードがエアコン、ファンヒーターなどの他の暖房器具とホットカーペを併用した場合、室温が高くなるとホットカーペの表面温度を自動的に下げるためです。

●ホットカーペの周辺部は中央部より温度が低くなります。

構造上、周辺部にはヒーターが配置されていないためです。

●エアコン、ファンヒーターなどの他の暖房器具の温風が直接ホットカーペに当たる場合、ホットカーペの温度が上がりにくくなります。

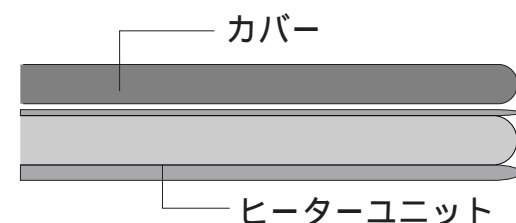
他の暖房器具の温風がホットカーペに当たる場所の温度を他の場所より上げるため、本体の保護機能が働いてホットカーペ表面温度を自動的に下げるためです。

●カバーをかけると温度が上がりにくくなります。

カバーがホットカーペ表面からの熱を伝わりにくくするためです。

●部屋が木床と畳では温度の上がり方がちがいます。

一般に、畳のほうが温度の上がる速度が速くなります。

●ホットカーペは電源スイッチを入れてから約6時間で自動的にスイッチが切れるように設定されています。
(スイッチが切れると電源ランプが点滅します)

電源スイッチを一度「切」に戻してから再度「入」にすれば、元通り通電します。

■取り扱い上の注意

●熱に弱い木質床の上で長時間使用すると、熱で床にひびが入ったり、板と板とのすき間が大きくなったりすることがあります。

●新しい畳の上でホットカーペをお使いになると、ホットカーペの下の畳が変色することがあります。

・上記の様な床でご使用の場合は、ときどきホットカーペをめくって床をチェックしてください。

●ホットカーペを移動した時、収納した時に、敷いていた床が“つるつる”する場合があります。このような場合は、床で使用出来る市販の中性洗剤で床を拭いてください。(すべり止め加工面で床の汚れが取れ、ワックス面が現れて“つるつる”するおそれがある為です。)

⚠注意

延長コードをご使用の場合はカーペットの最大消費電力以上の容量を持つ延長コード(テーブルタップ)をご使用ください。

容量に余裕がないと、発熱・発火のおそれがあります。

◆ 故障かなと思ったときに

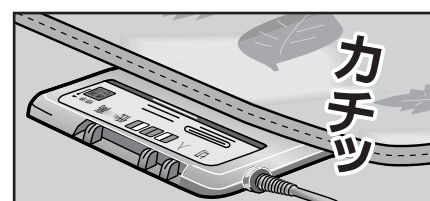
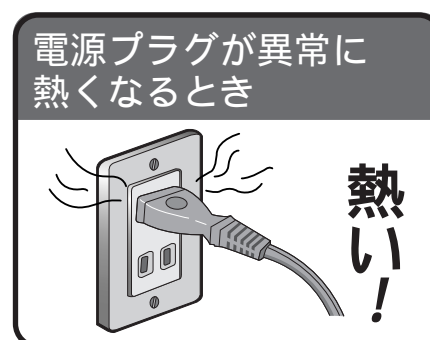
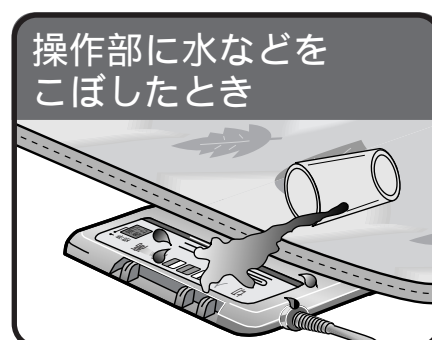
このようなとき	チェックしてください	直 し か た
暖かくならない ときどき暖かくならない	電源ランプが点滅していませんか。	自動切タイマーが動作しています。電源スイッチを一度「切」にし再度「入」にしてください。P8参照
	温度コントローラ部に座布団等がのっていませんか。	温度コントローラ部は座布団等でおおわないでください。
	温度コントローラ部にファンヒーターの温風が当たっていませんか。	ファンヒーターの風が温度コントローラに当たらないようにファンヒーターを移動してください。P7参照
	座布団や掛け毛布・カバーなど、保温性のよいものをカーペットの上にのせていませんか。	座布団など保温性のよいものは、電気カーペットの上にはのせないでください。P7参照
	適温セーブスイッチが「標準」にセットされていますか。	機能切替スイッチを「標準」の位置にセットしてください。P7参照
温度が高い	温度調節レバーが「高」の目盛りになっていませんか。	温度調節レバーを「低」のほうに合わす。

ご注意
- ●ご使用中に、温度コントローラ部から「カチッ」という音がしますが、これは温度調節機構の音で故障ではありません。
- ●温度コントローラ部が少し熱くなりますが、異常ではありません。

■お買い上げの販売店にご相談を

通電中に異常な音や臭いがするとき

操作部に水などをこぼしたとき

電源プラグが異常に熱くなるとき

◆ お手入れのしかた

■日常のお手入れ

⚠ 警告

必ず守る

お手入れの前には必ず電源プラグを抜いてください。
抜かないと感電の原因になります。

ヒーターユニット

- ●ヒーターユニットはクリーニングや水洗いできません。
- ●部分的な汚れは、うすめた中性洗剤に浸した布を固く絞って、根気よくふきとってください。
- ●裏面の汚れは乾いた布でふきとってください。ゆかピタ加工をしてあるので強く
こすらないでください。

何かをこぼした時

- ●ティッシュペーパーか乾いた布で、できるだけ早く汚れをふき取ってください。
（ケチャップ、マヨネーズなどの汚れはぬれた布でふき取り、乾いてしまった時は、水でぬらしてから乾いた布でふき取る）
- ●布をうすめた中性洗剤に浸して固く絞りシミを広げないようにふき取ってください。

コントローラと電源コード

- ●台所用中性洗剤をぬるま湯に溶かしてタオル等を浸して絞り、汚れをふきとってください。

※シンナー、スプレー、ベンジン、石油などの有機溶剤は使わないでください。

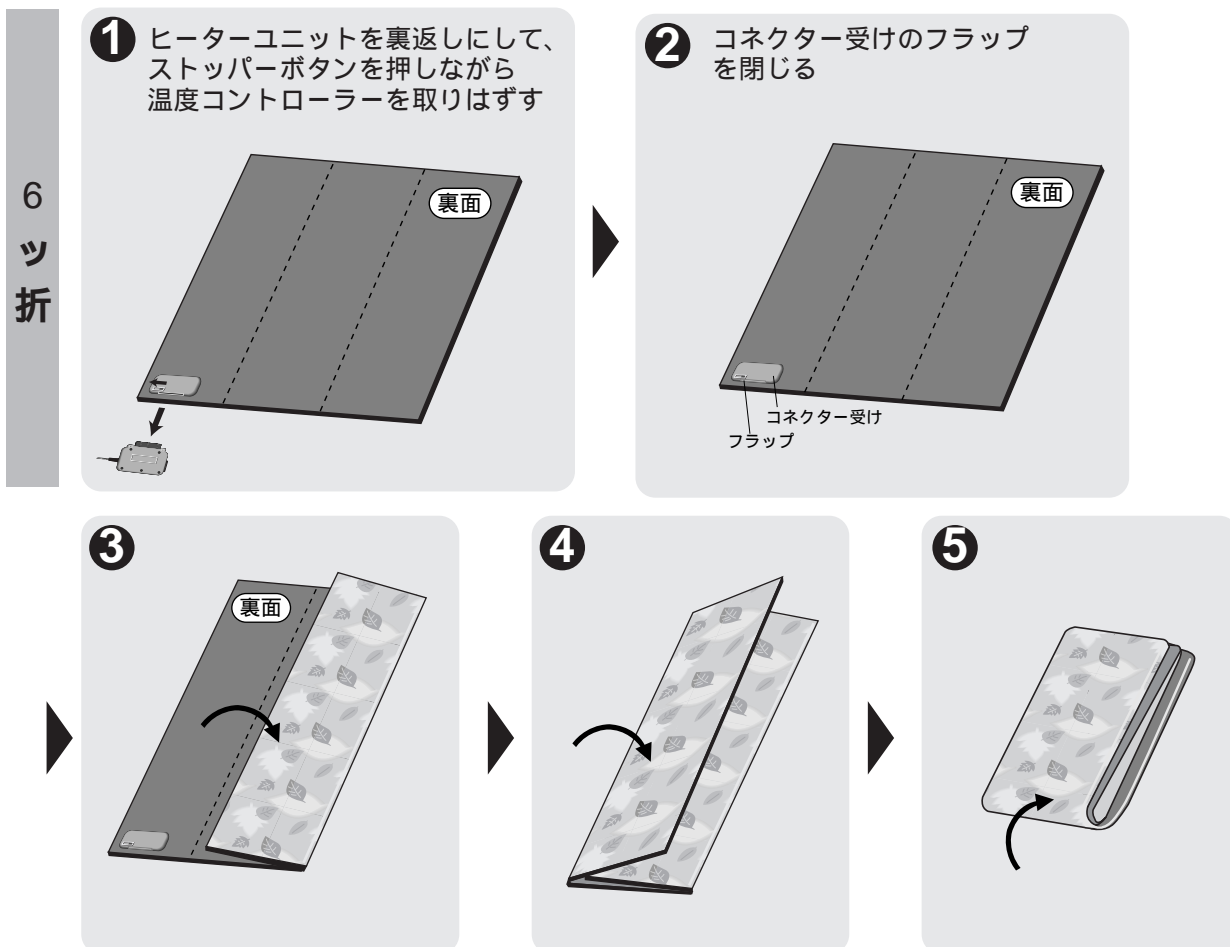
◆ 収納のしかた

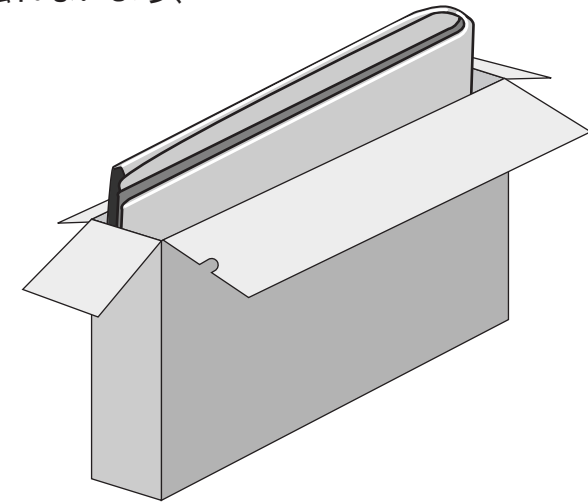
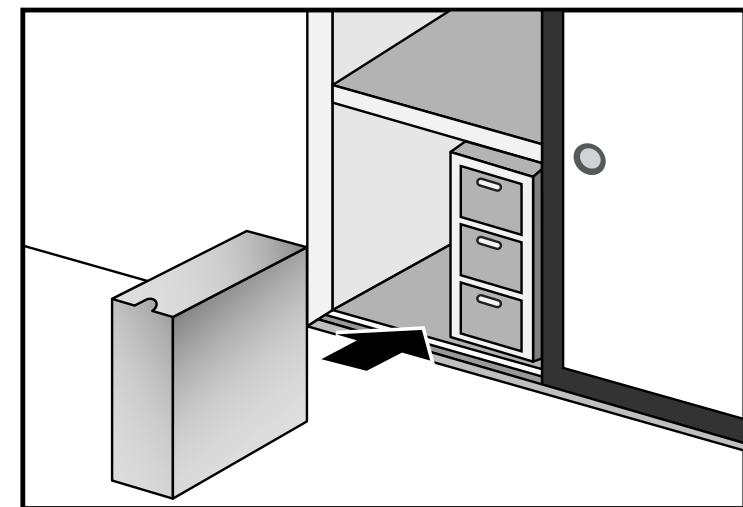
1 ヒーターユニットに付着したゴミや食べ物カス等を掃除機でていねいに取り除く。

2 折りたたんで箱に入れる。

■折りたたみ方法

ご注意 ●下図の順序で折りたたみ、ポリ袋に入れた後、梱包箱に入れてください。

●ナフタリン、樟脳などは使用しない。
（温度コントローラの電子部品をいためる原因となります）

■梱包箱への収納

電源プラグは、裏面のゆかピタ加工面に触れないよう、注意して収納。
（裏面を傷つけるおそれあり。）

3 湿気の少ない場所に保管。

◆ 保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこのホットカーペの補修用性能部品を製造打切り後、最低6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書のP9に従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグをぬいてからお買上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間中は

〈持込修理対象品の場合〉
お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。

〈出張修理対象品の場合〉
お買上げ販売店まで品名、品番、お買上げ日、故障の状況（出来るだけ具体的に）ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規程に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

お買上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●アフターサービスについてご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買上げの販売店またはお近くの松下電工お客様ご相談窓口（取扱説明書裏面参照）にお問い合せください。

愛情点検

長年ご愛用の電気暖房器の点検を！ ── 半年に１度は次の点を点検してください。──

ご使用の際このような症状はありませんか

- ●スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- ●コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ●運転中に異常な音がする。
- ●プラグ、コード、本体、コントローラなどが異常に熱い。
- ●こげくさい臭いがする。
- ●温度調節レバーを「低」にしても異常に熱い。
- ●その他の異常・故障がある。

▶ このような症状のときは、故障・事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。（ご自分では絶対に分解しないでください。）

◆ 仕　様

ヒーターユニット温度コントローラ		DR5221
	種　類	一体形
	定格電圧	AC100V(50-60Hz)
	定格消費電力	510W
	外形寸法	176cm×176cm
	表面材の材質	ポリエステル85%・レーヨン15%
	電源コード	1.55m
	製品質量(重量)	7.5kg

温度調節目盛		表面温度	標準消費電力量（1時間あたり）
DR5221	中	約40℃	約420Wh
DR5221	高	約45℃	約470Wh

表面温度および標準消費電力量は日本電機工業会の測定方法に基づいて測定した値です。
実際に使用されるときは、室温・床など部屋の構造や使用状態により多少異なります。
●表　面　温　度……室温20°Cで畳の上に広げた状態で測定。
●標準消費電力量……室温15°Cの畳の上に広げた状態で5時間通電したときの平均値。